



内閣府

令和7年12月23日
沖縄振興局

学童疎開船「対馬丸」水中等調査の実施について（速報：第1報）

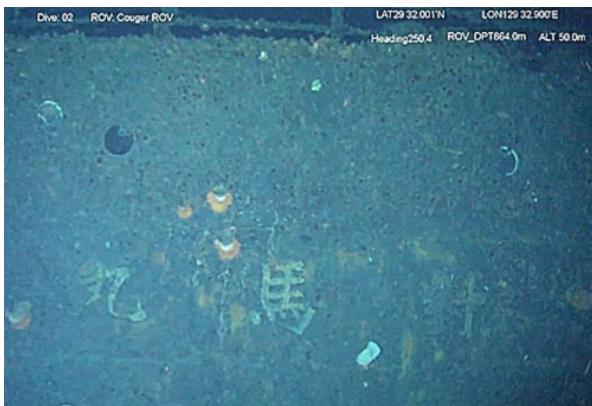
内閣府では、標記調査を実施し、対馬丸の映像撮影及び海底において試料収集等を行いましたので、速報（第1報）としてお知らせいたします。

※調査母船は11月27日に鹿児島県から出港し、12月18日に帰港。

なお、調査映像及び収集試料等の詳細については、調査母船から調査の概要報告や試料の提供等を受け、その後に調査映像等を踏まえた分析や編集作業等を行いますので、後日改めて公表させていただきます。

①船体外周のカメラ観察

水深約870mにおいて「対馬丸」を確認
(以下は右舷船首近くに今も残る船名)



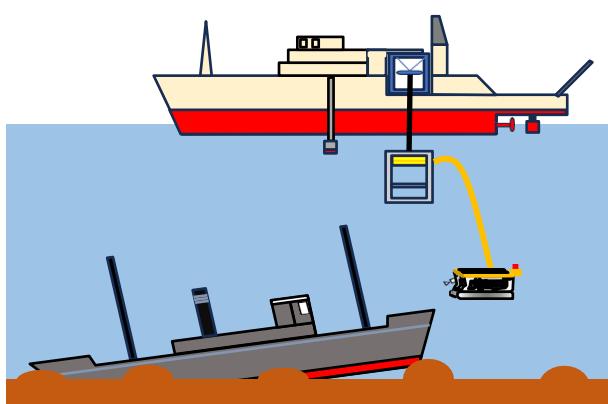
②試料収集

対馬丸周辺の海底から木片、土砂等を収集



- ・調査海域：鹿児島県鹿児島郡十島村の悪石島沖北西約10km付近
- ・調査方法：無人探査機による船体外周のカメラ観察、試料収集、3Dモデリング等

参考：遠隔操作無人探査機（カメラ・ロボットアーム搭載）による観察イメージ



※報道機関の方へ

今後、詳細公表に向けて調査映像を踏まえた分析・編集等作業を行うこととしており、調査会社及び御遺族等関係者への取材には御配慮いただきますようお願いいたします。

本件問合せ先
内閣府沖縄振興局特定事業担当 山田、笹村
電話：03-6257-1675（直通）